

決算特別委員会の審査

平成19年度の決算議案を審査するため、決算特別委員会を設置し、9月19日、22日、24日の3日間にわたり熱心な質疑が行われ、17議案は認定されましたが、一般会計歳入歳出決算議案は不認定となりました。主な質疑の内容は次のとおりです。

歳入

質疑 市税、軽自動車税の不納欠損の理由は。

答弁 4人の外国人が帰国して徴収できないためです。

質疑 住宅使用料の収入未済額が増えているが、高額滞納者の人数は。

答弁 50万円以上の滞納者は28人で、そのうち200万円以上は6人います。

質疑 滞納者への督促が甘いのではないか。県では30万円以上で退去としている。滞納額が高額になる前に対応しないと、その人にとつても気の毒だが。

答弁 滞納者には督促状、電話等で支払いをお願いしており、今後も努力していきます。

質疑 特別収納推進室を設

置して効果が出ているようだが、支払能力があつて支払わない人には厳しく対応すべきである。庁内統一基準を定め早期に対応すべきであると考えているが。

答弁 悪質者に対しては預金、財産等も含め調査し、高額にならないうちに対応していきたい。組織を作り一元化していきます。

質疑 市税の不納欠損が約6000万円あるが、時効を5年間とした方法は今後も続けるのか。

答弁 判断基準は無財産、生活困窮などで、預貯金の状況等々を調査して決め、今後も同様と考えています。

総務費

質疑 市民ふれあい議会を開催したが、市議会がある

のに本場に必要なのか。

答弁 市民から直接意見を聞く広聴事業で、そのほかに女性懇談会等があり、議会の一般質問と同様、市政運営の参考としています。

質疑 公共事業の優良工事表彰はいつまで続けるのか。良い仕事をするのは当たり前だが。

答弁 制度を改めて平成18年度の評点を基に実施しました。品質確保は重要なことなので今後も続けていきたい。

質疑 バランスシート作成事業は平成19年度から職員の手作りとのことだが、全職員ができるよう勉強させる考えは。

答弁 今後、研修を全職員に広げていきたい。

質疑 防犯灯設置についての基準がなく、市民は不満を持つている。要綱を作るべきだと思うが。

答弁 現在各地域でバラバラの状態です。今後、設置基準等を定めていきたい。

質疑 伊香保タウンバスイ

メージアップ事業で音楽を

流すことはどうなったのか。

答弁 現在、音楽を流せるよう調整を進めています。

民生費

質疑 在宅ねたきり高齢者等布団丸洗いサービス事業の利用者数は。

答弁 年3回利用でき、認定者は3月末で54人、そのうち33人が利用しました。

質疑 児童虐待について、人数は把握しているのか。

答弁 実父や実母からの虐待等42件報告されています。

質疑 平成19年度の身体、知的、精神障害者の人数は。

答弁 身体障害者3655人、知的障害者523人、精神障害者284人です。

質疑 心身障害児通園事業を利用している人数は。

答弁 毎日通園が18人、随時通園が25人です。

質疑 紙オムツ給付事業の利用者数は。

答弁 年2回給付しており、9月の支給が693人、3月の支給が768人です。

質疑 原油高騰緊急対策事業の支給件数とその割合は。

答弁 支給した件数は10

53件で、申請見込者を対象者とすれば26・6%です。

質疑 ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム設置事業の実績は。

答弁 平成19年度は3業者に委託しており、業者への通報は25件、市役所への直接の通報は38件ありました。

衛生費

質疑 がん対策事業の各検診の受診率は。

答弁 胃がん15・6%、子宮がん23・4%、乳甲状態がん25・5%、大腸がん17

・1%、前立腺がん19・9%、腹部超音波45・6%と

低受診率です。現在、特定

健診との同時実施等、受診

率向上のために努力して

ます。

質疑 病院事業会計に約4

億8000万円弱繰り出し

ているが、今後、渋川総合

病院をどう生かしていく考

えか。

答弁 がん治療に必要な放

射線コバルト60が使用でき

なくなるため、新たに群馬

大学と連携しライナックを

導入してがん対策強化の方

向を考えています。

質疑 容器包装分別収集事業の中にエコキャップの回収を加えられないか。

答弁 リサイクル法で定められた範囲で実施していますが、それとは別に今後広域組合と相談し検討します。

農林水産業費

質疑 有害鳥獣の種類は山系によって異なるのか。また、常設駆除隊の考えは。

答弁 榛名山系はイノシシ、赤城山系は鹿が多い状況です。現在各地区の駆除隊に

わなの設置、見回り等をお願いしています。常設については今後検討します。

質疑 電牧柵設置への取り組みと個人的に対応したものは把握しているのか。

答弁 渋川、小野上、子持地区の11団体が取り組みをしており、個人の設置は把握していません。

商工費

質疑 観光宣伝事業でどんなことをしたのか。

答弁 伊香保温泉観光協会への委託料及び補助金などで、際だったものとして、

ハワイアンフェスティバルがあり、約1万4000人の宿泊者が確保できました。

質疑 渋川市観光協会は法人か。また、伊香保温泉観光協会との統合は考えているか。

答弁 市の観光課の中にあり、法人ではありません。主担当職員は1人でほかの観光課の職員も手伝っています。また、現在統合に向けて協議中ですが、山林等の財産、高額な会費、名称などの問題があります。

質疑 商店会活性化支援事業のプレミアム商品券で渋川は20%、子持は10%のプレミアム、この差はなぜか。

答弁 市の補助率は10%ですが、渋川商工会が上乗せで10%補助しています。

土木費

質疑 一般補修事業費の各地区の内訳は。

答弁 渋川1587万円、伊香保997万円、小野上500万円、子持1744万円、赤城1787万円、北橋968万円です。

質疑 あじさい公園のあじ

さいが咲かず、市民や市外からの見物客に対し大きなイメージダウンとなったが。

答弁 誠に申しわけなく思っています。指定管理者への指示が正確に伝わらなかつた結果です。今後このようないきまきまの対応していきま

質疑 四ツ角周辺土地区画整理事業はすでに3分の2以上の進捗率とのことであるが、具体的な効果が見えない。このまま計画どおり進めるのか。

答弁 平成23年までに建物移転の完了を予定し、引き続き現在の計画を進めていきます。

教育費

質疑 伊香保リンク管理運営事業で原油の高騰により平成20年度の事業は縮小されるのか。

答弁 平成19年度は県から燃料代の現物支給をいただきました。今年度は厳しく、県と協議し営業期間を短くする了解は得ていますが、なるべく長く営業できるよう努力してまいります。

質疑 北橋幼稚園建設の現状は。また、新園舎で卒園式はできるのか。

答弁 一期工事が完了し、10月18、19日に引越しま

国民健康保険特別会計

質疑 収入未済額が増加しているが対応策は。また、独自の減免制度を設け対応している自治体もあるが。

答弁 嘱託職員3人も含め昼夜訪問し、納税のお願いと納税相談をしています。市独自の減免はいろいろなケースがあるので難しいと考えています。

介護保険特別会計

質疑 介護保険料の時効消滅は2年と短い、対策は。

答弁 財産等を把握し、早めに差し押さえもしていき

水道事業会計

の改善をどう考えているか。

答弁 人件費、維持管理費、夜間電力の有効利用等コスト縮減や有収率アップなどに努めて改善します。

質疑 水道料金の統一、改定は考えているのか。

答弁 合併協議の中で5年間をめどに統一するとなっています。簡易水道を含め、6地区で段階的に改定していきたくと考えています。

病院事業会計

質疑 救急患者の受入状況は。

答弁 平成19年度の救急搬送者は渋川地区全体で4400人おり、そのうち640人受け入れています。全体の14・5%です。

質疑 最新の放射線治療ができる最先端のライナック導入における院長の考えは。

答弁 コバルト60が使用できなくなるため、放射線治療をやめることも考えたが、群馬大学も、このライナックを入れるなら患者も紹介し協力もすることなので、経営面で大きな力になると考えています。